

ペットに関するアンケート調査結果

生活衛生課

1 調査目的

県では、平成20年に動物の愛護と適正飼養の推進を目的とした「岐阜県動物愛護管理推進計画」を策定しました。県民の動物愛護に対する意識の動向や、動物による生活環境への影響等を把握するため、調査を実施しました。

2 調査対象など

調査対象：県政モニター636人（うちインターネットモニター342人）

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：平成25年7月中旬～8月上旬

回収結果：550人（回答率：86.5%）

構成比はパーセントで表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

○ペットに対する調査について

現在ペットを飼っている人のうち、「他人に迷惑をかけているかもしれないと思ったことがある」は55.6%、現在ペットを飼っていない人のうち、「他人のペットを迷惑であると感じたことがある」は66.9%となっている。

それぞれの具体的な内容として、「敷地への侵入と糞尿」「路上、公園での糞の放置」「早朝や深夜の鳴き声」などがみられました。

○保健所で引き取った犬及び猫について

殺処分される子猫はどうすれば少なくなるかについて、「不妊・去勢などの繁殖制限を行うべき」や「不妊・去勢手術を受けやすいように補助制度を創設すべき」が高くなっている。

一方、犬及び猫を飼っている人のうち、「不妊・去勢手術を行っていない」は44.0%となっている。その理由として、「しっかり管理ができるので、不要」「手術費用が高いから」が高くなっている。

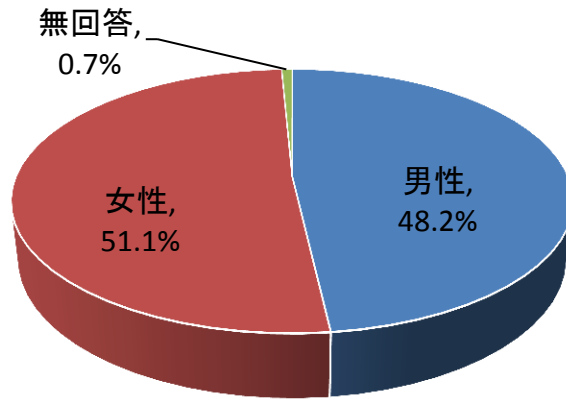
○「動物愛護の拠点となる施設」への要望について

ペットとの良好な関係づくりのために、多くの人が「ペットの正しい飼い方の啓発」を県に望んでおり、施設に期待する意見が多くみられました。

4 回答者の属性

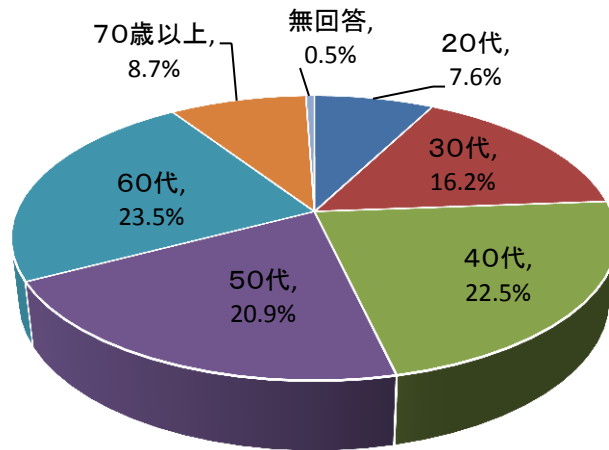
性別

	人数	構成比
男性	265	48.2%
女性	281	51.1%
無回答	4	0.7%
合計	550	100.0%



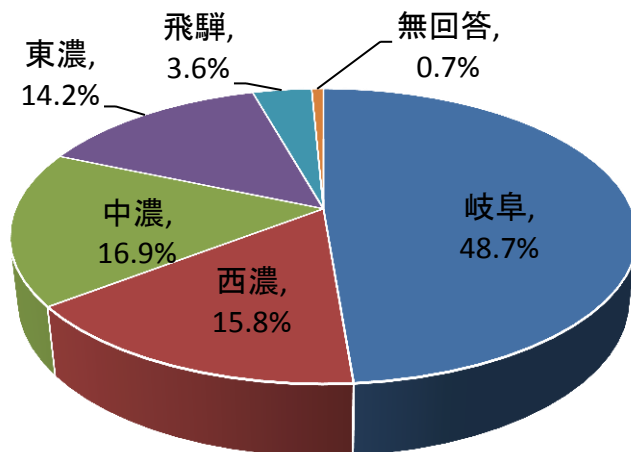
年代別

	人数	構成比
20代	42	7.6%
30代	89	16.2%
40代	124	22.5%
50代	115	20.9%
60代	129	23.5%
70歳以上	48	8.7%
無回答	3	0.5%
合計	550	100.0%



居住圏域別

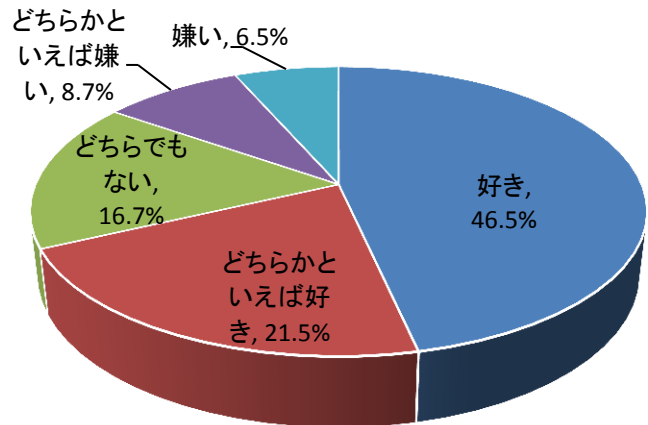
	人数	構成比
岐阜	268	48.7%
西濃	87	15.8%
中濃	93	16.9%
東濃	78	14.2%
飛騨	20	3.6%
無回答	4	0.7%
合計	550	100.0%



5 調査結果

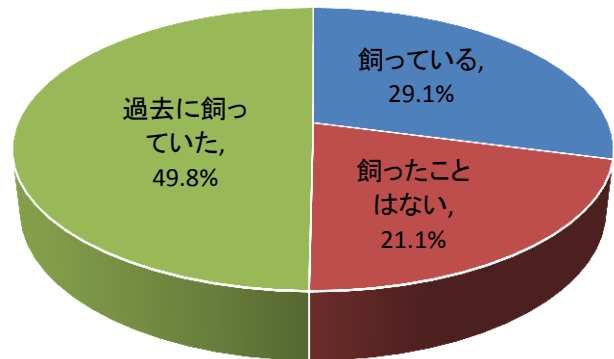
問1 動物（ペット）は、好きですか。

	人数	構成比
好き	256	46.5%
どちらかといえば好き	118	21.5%
どちらでもない	92	16.7%
どちらかといえば嫌い	48	8.7%
嫌い	36	6.5%
合計	550	100.0%



問2 ペットを飼っていますか。

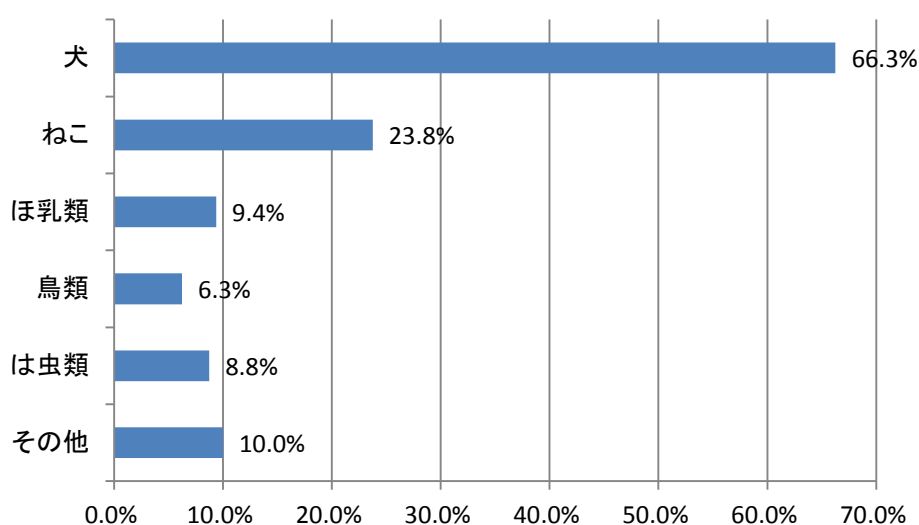
	人数	構成比
飼っている	160	29.1%
飼ったことはない	116	21.1%
過去に飼っていた	274	49.8%
合計	550	100.0%



問3 (問2で「飼っている」と答えた方)

あなたは、どんな動物(ペット)を飼っていますか。(複数回答/回答者160人)

	人数	構成比
犬	106	66.3%
猫	38	23.8%
ほ乳類(犬、猫を除く、うさぎ、ハムスターなど)	15	9.4%
鳥類(インコ、文鳥など)	10	6.3%
は虫類(トカゲ、カメなど)	14	8.8%
その他	16	10.0%
合計	199	



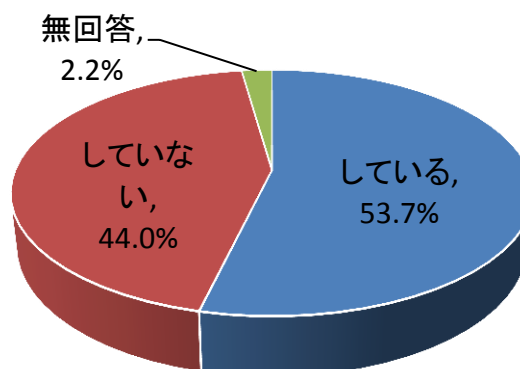
※その他のうち主なもの

魚類(金魚等)、昆虫(カブトムシ、クワガタ等)

問4 (問3で「犬」「猫」と答えた方)

不妊・去勢手術をしていますか。

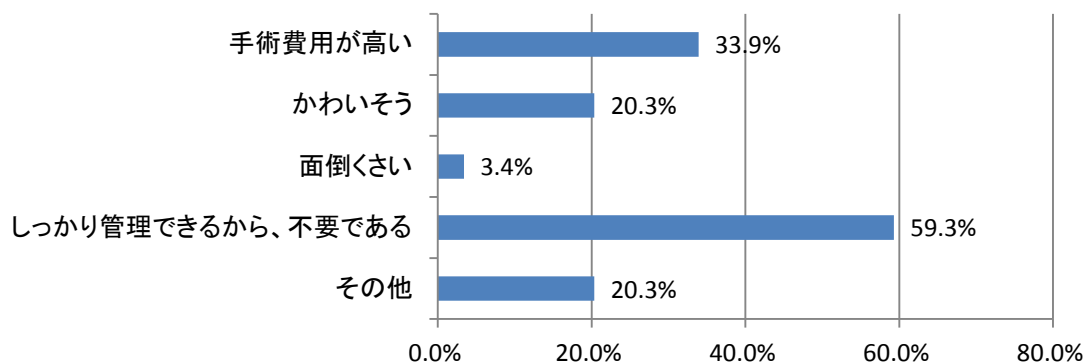
	人数	構成比
している	72	53.7%
していない	59	44.0%
無回答	3	2.2%
合計	134	100.0%



問5 (問4で「していない」と答えた方)

その理由は何ですか。(複数回答/回答者59人)

	人数	構成比
手術費用が高い	20	33.9%
かわいそう	12	20.3%
面倒くさい	2	3.4%
しっかり管理できるから、不要である	35	59.3%
その他	12	20.3%
合計	81	



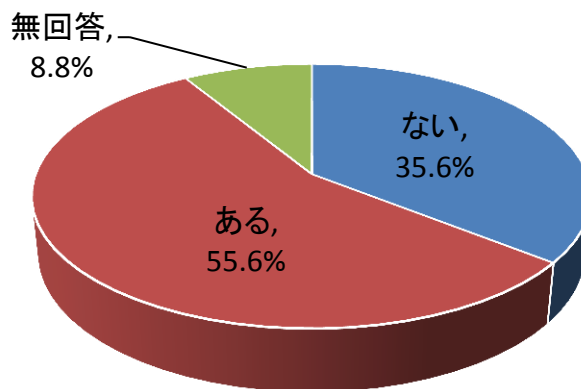
※その他のうち主なもの

- ・避妊・去勢について考えたことがない
- ・外の犬と接触しない
- ・病気又は幼齢のためできない
- ・手術による副作用や、体への負担が心配

問6 (問2で「飼っている」と答えた方)

ペットを飼う際に、他人に迷惑をかけているかもしれないと思ったことはありますか。

	人数	構成比
ない	57	35.6%
ある	89	55.6%
無回答	14	8.8%
合計	160	100.0%

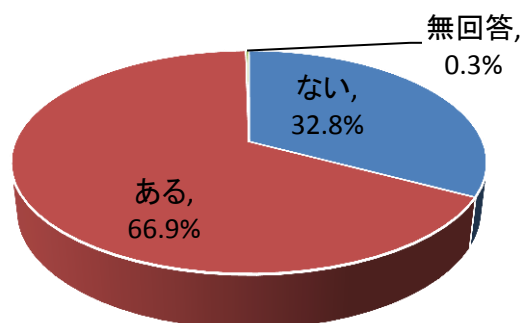


※「ある」の具体的な内容

- ・鳴き声 (特に早朝や深夜)
- ・マーキング、散歩中の尿の放置
- ・人や動物への咬傷
- ・抜け毛や、動物の臭い
- ・他人の敷地への侵入 (糞、尿をしているかもしれない)

問7 (問2で「飼ったことはない」「過去に飼っていた」と答えた方)
 他人のペットを迷惑と感じたことはありますか。

	人数	構成比
ない	128	32.8%
ある	261	66.9%
無回答	1	0.3%
合計	390	100.0%

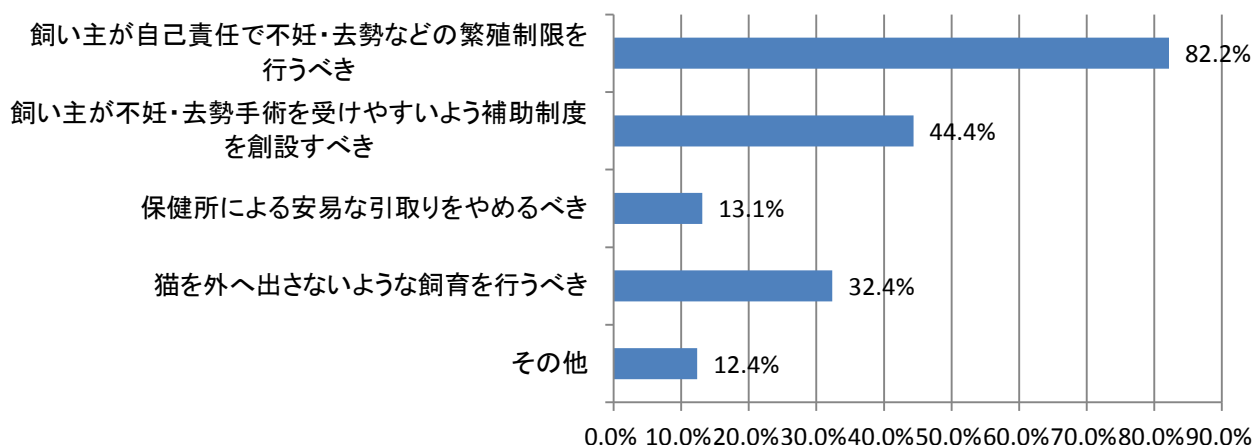


※「ある」の具体的な内容

- ・自分の敷地内での糞尿
- ・早朝、夜間の鳴き声
- ・咬まれた、咬まれそうになった
- ・人が多く集まる場所への犬の同伴
- ・猫の放し飼い
- ・路上、公園での糞の放置
- ・長いリード、リードなしでの散歩

問8 殺処分される子猫は、どうすれば少なくなると思いますか。
 (複数回答/回答者550人)

	人数	構成比
飼い主が自己責任で不妊・去勢などの繁殖制限を行うべき	452	82.2%
飼い主が不妊・去勢手術を受けやすいよう補助制度を創設すべき	244	44.4%
保健所による安易な引取りをやめるべき	72	13.1%
猫を外へ出さないような飼育を行うべき	178	32.4%
その他	68	12.4%
合計	1014	



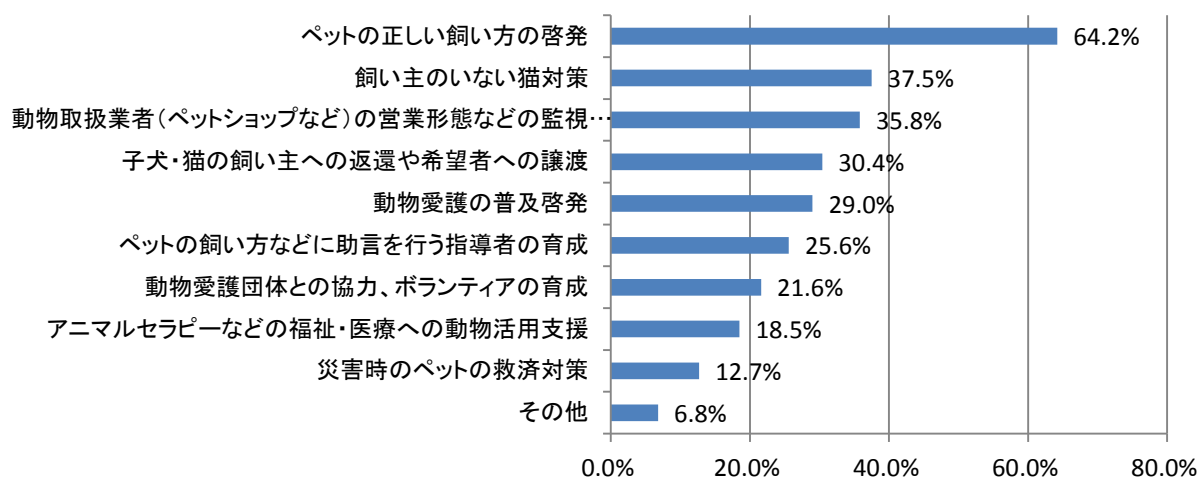
※その他のうち主なもの

- ・安易に飼養できない制度の構築
- ・避妊・去勢手術を義務化する
- ・飼い主および行政が、積極的に新しい飼い主を探す
- ・ペットの販売、購入の規制を強化する
- ・無責任な餌やりをやめる

問9 ペットとの良好な関係づくりのために、県に望むことはなんですか。

(複数回答/回答者542人)

	人数	構成比
ペットの正しい飼い方の啓発	348	64.2%
飼い主のいない猫対策	203	37.5%
動物取扱業者(ペットショップなど)の営業形態などの監視強化	194	35.8%
子犬・猫の飼い主への返還や希望者への譲渡	165	30.4%
動物愛護の普及啓発	157	29.0%
ペットの飼い方などに助言を行う指導者の育成	139	25.6%
動物愛護関連団体との協力、ボランティアの育成	117	21.6%
アニマルセラピーなどの福祉・医療への動物活用支援	100	18.5%
災害時のペットの救済対策	69	12.7%
その他	37	6.8%
合計	1529	



※その他のうち主なもの

- ・飼育許可制度、登録制度、ペット税の導入
- ・罰則強化
- ・飼い主のモラル向上、飼い主責任やしつけについての教育

問 10 岐阜県では平成26年度に「動物愛護の拠点となる施設」を開設します。

この施設は、災害時における被災動物救援活動の拠点となるほか、保健所に収容された犬・猫の譲渡を促進して殺処分数を減らす役割、動物愛護・適正飼養の啓発を推進する役割も担います。

この施設への要望などございましたらお聞かせください。

【主なご意見・ご要望】

- ・動物愛護・適正飼養の促進、殺処分減少、被災動物救援活動について、新しい施設に期待する。
- ・施設に関する情報をもっと多くの人に知らせるべきである。
- ・譲渡動物の情報を広く発信してほしい。
- ・飼い主、学生の動物愛護教育の場としてほしい。
- ・しつけや訓練も行う施設としてほしい。
- ・人に関する福祉等の充実が優先である。
- ・税金の使用が少なくなるような運営を考える必要がある。

アンケートにご協力いただき有難うございました。

調査結果は、今後「岐阜県動物管理推進計画」において活用させていただきます。